

平成 21 年度当初予算 施策別概要

341 医療体制の整備

(主担当部：健康福祉部)

34101	患者本位の医療の推進	(健康福祉部)
34102	県立病院の医療サービス提供	(病院事業庁)
34103	救急・へき地医療体制の整備	(健康福祉部)
34104	がん診療体制の整備	(健康福祉部)
34105	骨髄バンク、臓器移植等の推進	(健康福祉部)
34106	難病患者等の支援	(健康福祉部)
34107	医療分野の人材確保	(健康福祉部)
34108	適正な医療保険制度の確保	(健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 必要とする適切な医療を受けている

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域の診療所・病院から地域医療支援病院への紹介率	目標値	-	63%	77%	78%	80%
	実績値	62%	76%			

かかりつけ医である地域の診療所・病院から専門的な医療等後方支援の役割を担う地域医療支援病院への紹介患者の割合 (紹介率 = 地域医療支援病院における初診医療の中の紹介診療の割合)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域医療支援病院から地域の診療所・病院への紹介率	目標値	-	48%	57%	58%	60%
	実績値	47%	56%			
難病相談支援センター登録患者数	目標値	-	780 人	1,200 人	1,900 人	(1,400 人) 2,000 人
	実績値	731 人	1,100 人	1,780 人		
医療相談件数	目標値	-	610 件	650 件	690 件	730 件
	実績値	573 件	634 件	474 件		

難病相談支援センター登録患者数における H22 年度の目標値については、H20 年度の実績を勘案して上方修正します。

目標値欄の上段括弧書きは 2008 年 (平成 20 年) 版県政報告書記載値、下段は修正値

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 三重県保健医療計画 (第 4 次改訂) および三重県地域ケア体制整備構想にもとづき、疾病の急性期から回復期、維持期に至るまで、切れ目のない医療、保健、福祉サービスが提供される体制整備に取り組んでいます。
- ・ 限られた医療資源の有効活用に向けて、県民の適切な受療行動を促す啓発の取組を進めるとともに、セミナー等の開催により医療の機能分化を推進する気運の醸成をはかっています。
- ・ 県立病院の在り方については、病院事業の在り方検討委員会からの答申を最大限尊重しつつ、市町、三重大学などの意見も十分聴いたうえで、県立病院の方向性など県としての考え

方をまとめる必要があります。

- ・ 初期、二次および三次救急医療の機能分担を進め、地域における救急医療体制の再構築を支援していますが、救急医療に従事する医師の確保が課題となっています。また、三次救急医療体制の充実に向けて、新たな救命救急センターの指定や、県内全域を対象とする県独自のドクターヘリの導入について検討を進めています。
- ・ 三重県がん対策戦略プランの改訂を行うとともに、緩和医療の充実に向けて、新たにがん診療連携拠点病院に医師を対象にした研修を実施しました。今後も引き続きがん診療に従事する人材の育成、院内がん登録を推進するとともに、地域がん登録の実施に向けた検討を行う必要があります。
- ・ 院内がん登録を推進するとともに、地域がん登録の実施に向けた検討を行う難病患者等への支援として、重症神経難病患者とその家族が安心して在宅療養生活を送ることができるような支援システムの構築に取り組んでいます。
- ・ 抜本的に改正した医師修学資金貸与制度により、新たに 61 名に対して修学資金を貸与しました。さらに、ドクタープール制度、みえ医師バンクを活用して医師の確保に取り組んでいますが、県内の医師不足は依然として厳しい状況にあります。
- ・ 看護職員の確保・離職防止については、離職者が多い中堅看護職員の定着を支援するため、サポーターをモデル病院に派遣するなど、中堅看護職員の負担軽減の取組を進めています。

<平成21年度の取組方向>

疾病の急性期から回復期、維持期に至るまで、医療、保健、福祉の切れ目のないサービスが提供される体制整備をめざし、各地域における関係機関の連携を促進します。

医療資源の有効活用に向けて、引き続き県民に対する啓発の取組を充実するとともに、迅速かつ適切な医療情報の提供に努めます。

県立病院の今後の方向性など開設者である県の考え方を踏まえて、新しい経営計画（当面の運営方針）に沿って医療の質の向上に努めるとともに、経営の改善に取り組めます。

救急医療機関における医師の確保を支援するとともに、病院前救護体制の充実、および初期、二次、三次救急医療の機能分担を促進し、地域の救急医療体制の充実・再整備をはかります。

三次救急医療体制の充実をはかるため、新たな救命救急センターを指定するとともに、県医療審議会救急医療部会の答申を踏まえ、県独自のドクターヘリの導入を検討するため、基地病院の選定等にかかる調査を行います。

三重県がん対策戦略プラン（改訂版）にもとづき、放射線療法や緩和ケアなどがん医療を充実するための人材育成に取り組むとともに、患者やその家族に対する相談体制の充実をはかります。また、院内がん登録を推進するとともに、地域がん登録の実施に向けた検討を行います。

医療機関、NPO等との連携を緊密にし、骨髄バンクや臓器移植等の普及啓発を行います。

三重県難病相談支援センターや難病医療連絡協議会等との協働で、難病患者等へのきめ細かな療養・生活支援を行います。

医師修学資金貸与制度の活用等により、県内全域の医師不足の早期解消に向けて取り組むとともに、三重大学医学部の定員増を踏まえ、地域医療に従事する医師の養成と県内定着の促進をはかります。

不足する看護職員の確保に向けて、引き続き看護職員の定着促進、病院内保育に対する支援、再就業の促進、養成所に対する支援に取り組めます。

平成21年4月1日に公立大学法人三重県立看護大学を設立し、自律的かつ弾力的な大学運営を行っていきます。

<主な事業>

(一部新)(重)医療機関機能分化推進事業【基本事業名：34103 救急・へき地医療体制の整備】
(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1医務費)

予算額：(20) 35,435千円 (21) 46,859千円

事業概要： 限られた医療資源を有効に活用するため、セミナーの開催等により県民への啓発を行い、医療機関の機能分化を推進します。また、安全で安心な「お産」ができる体制を整備するため、助産師養成所の設置支援など、助産師の確保と資質向上をはかります。(助産師養成所の設置支援 1か所、医療機能分化セミナー開催 3回等)

県立病院の医師・看護師確保定着事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

(第1款 病院事業費用 第1項 医薬費用 6研究研修費 他)

予算額：(20) 177,380千円 (21) 180,552千円

事業概要： 県立病院で働く医師・看護師の確保のため、医師の研修環境の充実や新人看護師の技術支援、院内保育の充実、看護師修学資金の貸与等に取り組みます。(看護師修学資金 継続39名 新規40名 計79名)

病院事業会計支出金【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】

(第4款 衛生費 第5項 病院費 1病院費)

予算額：(20) 6,501,336千円 (21) 7,949,572千円

事業概要： 地方公営企業法に基づき、県立病院事業が実施する救急医療、高度医療、特殊医療、施設改良等に要する経費を負担するとともに、企業会計において必要経費を賄うことが客観的に困難又は不適当な費用について補助を行います。また、県立病院の適切な資金運用を図るために貸付を行います。

(一部新)(重)救急医療体制再整備・医療情報提供充実事業【基本事業名：34101 患者本位の医療の推進】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1医務費)

予算額：(20) 187,411千円 (21) 217,989千円

事業概要： 県民への医療情報提供および病院前救護体制の充実をはかり、救急病院における勤務医の確保を支援すること等により、地域の救急医療体制の再整備を促進します。(メディカルコントロール分科会の開催 3回等)

(一部新)(一部重)ドクターヘリ検討事業費【基本事業名：34101 患者本位の医療の推進】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1医務費)

予算額：(20) 2,233千円 (21) 5,857千円

事業概要： 県医療審議会救急医療部会の答申を踏まえ、本県独自のドクターヘリの導入を検討するため、基地病院の選定等にかかる調査を行います。また、和歌山県、奈良県との三県共同運航によるドクターヘリの経費を負担します。(基地病院選定に係る協議検討会の開催 3回等)

医療施設等施設・設備整備費補助金【基本事業名：34101 患者本位の医療の推進】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1医務費)

予算額：(20) 千円 (21) 35,006千円

事業概要： 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境の改善並びに医療従事者の養成力の充実等を図り実施します。(病院の施設整備近代化事業にかかる費用に対し補助)

(一部新)(重) 総合的がん対策推進事業【基本事業名：34104 がん診療体制の整備】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(20) 58,002千円 (21) 66,584千円

事業概要： 三重県がん対策戦略プラン(改訂版)にもとづき、放射線療法や緩和ケアなどがん医療に従事する人材育成をはかるとともに、患者やその家族に対する相談支援体制を充実します。また、院内がん登録を推進するとともに、地域がん登録の実施に向けた検討を行います。(院内がん登録実施病院 13か所 等)

難病相談・支援センター事業【基本事業名：34106 難病患者等の支援】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額：(20) 10,193千円 (21) 9,228千円

事業概要： 三重県難病相談支援センターにおいて、地域で生活する難病患者やその家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進、就労支援などを実施します。

(一部新)(重) 医師確保対策事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1 医務費)

予算額：(20) 175,383千円 (21) 337,291千円

事業概要： 新たな医師修学資金貸与制度の活用等により、医師の確保を進めます。また、三重大学医学部の定員増を踏まえ、卒前・卒後教育の充実に取り組むとともに、医師不足地域の病院を支援します。(ポジティブスパイラルプロジェクトの推進、医師交代勤務制導入支援病院 2か所、医療事務作業補助者設置支援病院 4か所 等)

(重) 看護職員確保・離職防止充実事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 2 医療従事者確保対策費)

予算額：(20) 45,037千円 (21) 48,936千円

事業概要： 看護職員を確保するため、修学資金の貸付、病院内保育所設置に対する支援等を行うとともに、中堅看護職員の離職防止対策に取り組みます。(看護大学生修学資金貸与者 20名、中堅看護職員定着促進システムモデル病院 3か所 等)

(新) 公立大学法人関係事業【基本事業名：34107 医療分野の人材確保・養成】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 3 医療従事者養成費)

予算額：(20) - 千円 (21) 761,725千円

事業概要： 公立大学法人三重県立看護大学が自律的かつ弾力的な運営をするために必要な経費を運営費交付金として交付します。